

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月13日

上場取引所 JQ

上場会社名 川辺株式会社

コード番号 8123 URL <http://www.kawabe.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 久和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括本部長兼管理本部
部長兼コンプライアンス室長 (氏名) 岡部 倫寛

TEL 03-3352-7110

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,420	△7.1	△33	—	△5	—	△22	—
21年3月期第2四半期	6,911	4.9	177	462.6	209	256.0	98	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△1.20	—
21年3月期第2四半期	5.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	10,220	4,813	47.0	259.84
21年3月期	10,277	4,836	47.0	260.93

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 4,813百万円 21年3月期 4,836百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	5.00	5.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	△6.5	150	△67.8	220	△58.7	126	△82.2	6.80

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔注〕 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 有 |
- 〔注〕 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 18,610,000株 | 21年3月期 | 18,610,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 86,182株 | 21年3月期 | 75,544株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 18,524,640株 | 21年3月期第2四半期 | 18,540,652株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。
なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページをご参照ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として企業収益の減少や雇用情勢の悪化が増す中で、個人消費の低迷が続き、先行き不透明な厳しい状況で推移いたしました。

当服飾雑貨業界を取り巻く環境は、消費者の生活防衛意識によって消費マインドが大幅に低下し、当社主力販売先である百貨店、チェーンストア等も大変厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境の中で、当社グループは従来からの経営方針に基づく、店頭を起点とする新しい需要の喚起を目指した商品開発や提案に重点を置き、企業価値の向上を図ると同時に、価格の見直しや生産調整等、環境の変化に柔軟に対応するよう努めてまいりました。

商品別には主力製品であるハンカチーフが消費マインドの低下などにより前年同四半期比89.0%となりました。

スカーフにつきましてもハンカチーフと同様消費マインドの低下などにより前年同四半期比96.2%となりました。

タオルにおきましては、(株)ソルティー子会社化により売上増加に努め、前年同四半期比164.2%となりました。

なお、雑貨におきましては、京都シルクのイベント展開実施しましたが売上減少を補いきれず、前年比92.3%となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は64億20百万円(前年同四半期比92.8%)、売上総利益は23億46百万円(前年同四半期比94.0%)となりました。

なお利益につきましては、売上減少による売上総利益が大幅に低下し、一方販売費及び一般管理費につきましても今治物流センターの新築に伴う物流センター合理化にかかる一時費用の増加によって、営業損益は33百万円の損失(前年同四半期 営業利益 1億77百万円)、経常損益は5百万円の損失(前年同四半期 経常利益 2億9百万円)、四半期純損益は22百万円の損失(前年同四半期 四半期純利益98百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期における「資産合計」は、前連結会計年度末の102億77百万円から102億20百万円となりました。

これは主として、売上債権の減少等と投資不動産、のれん等の増加によるものであります。

「負債合計」は、前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、54億7百万円となりました。

これは主として、仕入債務の減少と短期借入金、長期借入金、社債の増加によるものであります。

また、「純資産合計」は前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、48億13百万円となりました。

この結果、当第2四半期における総資産は、前連結会計年度末の102億77百万円から102億20百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年11月11日発表の「平成22年3月期 第2四半期連結累計期間及び通期 連結業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想から変更しておりません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

2. 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

3. 原価差異の配賦方法

予定価格等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に実施する方法によっております。

4. 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

5. 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

6. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

7. 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引を相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

8. 未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫高に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 表示方法の変更

前第2四半期連結累計期間において、特別損失の「固定資産除売却損」に含めていた「移転費用」は、特別損失総額の20/100を超えたことから内容を明確に表示するため区分掲記いたしました。なお、前第2四半期連結累計期間の特別損失の「固定資産除売却損」に含まれる「移転費用」は952千円であります。

前第2四半期連結会計期間において、特別損失の「固定資産除売却損」に含めていた「移転費用」は、内容を明確に表示するため区分掲記いたしました。なお、前第2四半期連結会計期間の特別損失の「固定資産除売却損」に含まれる「移転費用」は952千円であります。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	274,899	466,730
受取手形及び売掛金	1,812,541	2,614,534
商品及び製品	2,509,862	2,346,919
仕掛品	103,672	88,583
原材料及び貯蔵品	140,331	136,725
その他	373,939	479,200
貸倒引当金	△6,134	△7,020
流動資産合計	5,209,112	6,125,672
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	943,915	871,721
工具、器具及び備品（純額）	111,687	96,332
土地	797,604	736,339
その他（純額）	99,389	199,094
有形固定資産合計	1,952,596	1,903,487
無形固定資産		
のれん	391,152	165,123
その他	64,017	63,114
無形固定資産合計	455,169	228,237
投資その他の資産		
投資有価証券	914,256	733,316
投資不動産（純額）	1,142,434	692,754
その他	765,520	602,444
貸倒引当金	△218,712	△8,598
投資その他の資産合計	2,603,498	2,019,917
固定資産合計	5,011,265	4,151,642
資産合計	10,220,377	10,277,314

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,169,694	2,515,018
短期借入金	1,142,612	1,030,914
1年内償還予定の社債	33,400	—
未払法人税等	33,083	89,529
賞与引当金	40,200	18,800
その他	414,530	496,325
流動負債合計	3,833,519	4,150,586
固定負債		
社債	66,600	—
長期借入金	418,799	275,072
退職給付引当金	987,800	965,799
その他	100,286	49,563
固定負債合計	1,573,485	1,290,435
負債合計	5,407,005	5,441,022
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,720,500	1,720,500
資本剰余金	1,770,567	1,770,567
利益剰余金	1,298,009	1,413,070
自己株式	△11,656	△10,536
株主資本合計	4,777,421	4,893,602
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	35,950	△57,309
評価・換算差額等合計	35,950	△57,309
純資産合計	4,813,372	4,836,292
負債純資産合計	10,220,377	10,277,314

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	6,911,161	6,420,196
売上原価	4,416,378	4,073,529
売上総利益	2,494,782	2,346,666
販売費及び一般管理費	2,316,976	2,380,003
営業利益又は営業損失(△)	177,806	△33,336
営業外収益		
受取利息	580	115
受取配当金	9,481	10,323
投資不動産賃貸料	28,349	30,517
その他	12,825	16,580
営業外収益合計	51,236	57,536
営業外費用		
支払利息	14,105	16,663
不動産賃貸費用	5,798	9,718
その他	25	3,154
営業外費用合計	19,929	29,537
経常利益又は経常損失(△)	209,113	△5,336
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	5,058
特別利益合計	—	5,058
特別損失		
貸倒損失	1,232	—
商品廃棄損	456	—
割賦契約解約損	9,733	—
固定資産除売却損	8,481	2,436
投資有価証券評価損	—	1,306
移転費用	—	1,080
その他	—	324
特別損失合計	19,903	5,148
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	189,209	△5,426
法人税等	91,136	16,962
四半期純利益又は四半期純損失(△)	98,073	△22,388

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	3,593,510	3,195,594
売上原価	2,322,637	2,016,975
売上総利益	1,270,873	1,178,619
販売費及び一般管理費	1,110,082	1,139,400
営業利益	160,791	39,219
営業外収益		
受取利息	553	93
受取配当金	454	778
投資不動産賃貸料	14,174	16,343
その他	8,290	8,160
営業外収益合計	23,472	25,376
営業外費用		
支払利息	7,064	8,512
不動産賃貸費用	2,905	7,035
その他	—	2,341
営業外費用合計	9,969	17,889
経常利益	174,294	46,706
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	2,310
特別利益合計	—	2,310
特別損失		
割賦契約解約損	9,733	—
固定資産除売却損	8,243	2,268
投資有価証券評価損	—	1,306
移転費用	—	940
その他	—	216
特別損失合計	17,977	4,732
税金等調整前四半期純利益	156,317	44,283
法人税等	65,919	22,581
四半期純利益	90,397	21,702

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	189,209	△5,426
減価償却費	79,301	79,209
のれん償却額	26,972	46,433
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,888	△8,748
賞与引当金の増減額(△は減少)	17,400	21,400
退職給付引当金の増減額(△は減少)	38,056	19,854
受取利息及び受取配当金	△10,062	△10,438
支払利息	14,105	16,663
固定資産除売却損益(△は益)	8,481	2,436
受取賃貸料	△28,349	△30,517
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,306
商品廃棄損	456	—
割賦契約解約損	9,733	—
売上債権の増減額(△は増加)	913,724	1,012,574
たな卸資産の増減額(△は増加)	△150,413	△142,919
仕入債務の増減額(△は減少)	△399,607	△631,581
未払消費税等の増減額(△は減少)	△43,330	△53,076
その他の資産・負債の増減額	△34,323	△9,573
小計	627,466	307,596
利息及び配当金の受取額	10,062	10,438
利息の支払額	△12,723	△16,383
法人税等の支払額	△129,592	△81,627
営業活動によるキャッシュ・フロー	495,212	220,022
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	21,521
有形固定資産の取得による支出	△40,824	△377,814
有形固定資産の売却による収入	9,000	—
無形固定資産の取得による支出	△10,308	△6,512
投資有価証券の売却による収入	16,000	150
投資有価証券の取得による支出	△23,690	△24,154
投資不動産の賃貸による収入	28,349	30,517
貸付金の回収による収入	74	12,486
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	36,281
その他の収入	540	5,109
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,857	△302,413

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50,000	100,000
短期借入金の返済による支出	△454,512	△229,202
長期借入れによる収入	300,000	293,700
長期借入金の返済による支出	△252,748	△277,578
社債の発行による収入	—	100,000
配当金の支払額	△54,319	△91,882
自己株式の取得による支出	△644	△395
リース債務の返済による支出	△237	△1,788
その他	△80,293	△2,293
財務活動によるキャッシュ・フロー	△492,754	△109,440
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△18,399	△191,831
現金及び現金同等物の期首残高	179,828	466,730
現金及び現金同等物の四半期末残高	161,428	274,899

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

一セグメント(日常品としての身の回り品)の売上高のため記載を省略いたしました。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

本国以外の国又は、地域に所在する重要な在外支店及び連結子会社はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため記載を省略いたしました。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。